

令和4年度記念館調査活動報告

福崎町文化財だより

83

福崎町教育委員会
柳田國男・松岡家記念館
神崎郡歴史民俗資料館

柳田國男・松岡家記念館では、令和4年度秋季企画展「柳田國男の先祖、の話」を開催しました。本展の開催のため、本年度は福崎町外での調査活動を例年より多めに行いました。企画展ではご紹介できなかった調査活動の様子をお伝えします。

尾芝家墓所調査

4月28日(木)には、柳田國男の母方の先祖となる尾芝家の墓地を調査しました。尾芝家は、現加西市北条町付近で医業を営む家系でしたが、井上通泰が知人や弟子の伝手を使い尾芝家に連なる人物の墓所を探し求めていたところ、國男からあつさりと言き出させて拍子抜けしたというエピソードもあり、あまり知られていない松岡家の史跡のひとつです。加西市の歴史研究家喜谷氏、三枝氏にご案内いただき、墓石の拓本取



▲菊ヶ谷墓地 (加西市北条町)



▲柳田國男公苑 (北相馬郡利根町)



▲徳満寺の「間引き絵馬」



▲栄橋は現在、近代的な橋に架け替えられています。



▲松岡家墓所のように

現地の撮影と墓地見取図の作成を行いました。令和5年度には、松岡操・たけ夫妻についての展示を企画していきます。情報があります。記念館(22・1000)までお寄せください。

りや写真撮影などを行いました。

真継陶庵墓石調査

5月24日(火)には朝来市生野町の本行寺に残る真継陶庵の墓石の調査へ行きました。國男の著書『北国紀行』では、ここを訪れた際の國男の心境が率直に綴られています。また、國男から鼎に送られた葉書のなかにも、墓を訪れたことを報告したものが残されています。

布川・布佐現地調査

7月3日(日)から4日(月)にかけては、國男の第二の故郷である茨城県北相馬郡利根町と千葉県我孫子市布佐町で調査を行いました。《松岡小鶴肖像画》を始めとする小鶴の貴重な資料をお借りするとともに、利根町では、國男が神秘的な体験をした小川家の祠や土蔵を保

存した「柳田國男公苑」や、その中に祀られていた珠が展示されている利根町歴史民俗資料館を見学しました。加えて、同町の徳満寺に残された、少年期の柳田國男に大きな衝撃を与えたと伝わる「間引き絵馬」を見学しました。

また我孫子市では、松岡氏が創立した「布佐文庫」の蔵書が、現在も市立図書館に保存されていることを確認し、勝蔵院の松岡家墓所と、隣接する竹内神社内に残された石碑を調査しました。また、利根川初の人道橋として鼎が完成に尽力し、通泰が名付けたと伝わる「栄橋」を訪ねました。

悟真院松岡家墓所調査

神積寺悟真院の松岡家墓所には現在、先祖松岡松之助から國男の三人の天逝した兄たちまでの7基の墓石が残されており、7月27日(水)に

歴史民俗資料館だより

本年度特別展「神崎タイムスにみる福崎 ―うつつりかわる暮らし―」において、松茸に関する記事を取り上げましたので、その一部をご紹介します。

松茸と福崎

古くから神崎郡は松茸の産地として知られていました。特に福崎地域においては播但鉄道の利便性から、松茸狩客が多かったとされています。旧『福崎町史』には、明治・大正時代の様子として、阪



福崎名物松茸狩の清遊
旧『福崎町史』大正4年（1915）

神方面から臨時茸狩列車が増発されたことのほか、福崎駅付近に茸狩案内者がいたことや、現地まで自動車や馬車が通っていたこと、駅構内に松茸の相場を掲示したところなど、来客者のもてなしにも努めていた様子が記されています。

記事にみる賑わい

「神崎タイムス」は、昭和24年から昭和43年にかけて発行された神崎郡唯一の郷土新聞です。戦前に引き続き、松茸でにぎわう福崎地域の様子が紙面でもみられます。松茸シーズンの最盛期を前に、神姫バスは「臨時タケ狩バス」の準備をし、商工会は「タケ狩案内所」を設置、旅館や料亭も誘客宣伝に力を入れていることが報じられています。

松茸狩の最盛期では、福崎駅に二千人の客が訪れた様子や料理屋の喜ぶ様子など楽しい雰囲気伝える記事が多くあります。

昭和24年の記事には、松茸10



松茸山御案内の帯広告 昭和24年9月15日発行
松茸シーズンになると、旅館や料亭から広告が出されました。

0匁（375グラム）が20円という安値で販売されたこともあり、今よりずっと身近な食材だったことがわかります。

陰りだす松茸生産

にぎわいが伝えられる一方で、昭和30年以降、松茸の不作を伝える記事がみられるようになってきます。

昭和36年の記事では不作のため

松茸山解禁の10日間延長が報じられます。昭和39年になると福崎町で松茸の人工栽培の実験に関する記事もあり、不作に悩む様子がかがえます。

その後の記事では、松茸不作のピンチヒッターとして、しいたけ生産が吉田や北野をはじめとし、盛んになっていく様子を見ることが出来ます。昭和36年の記事には、福崎産しいたけが高級品とみなされるようになったと記されています。

松茸としいたけは、町勢要覧でも特産物や農林業の項目で取り上げられ、昭和61年まで掲載されました。



町勢要覧に掲載されたしいたけ・松茸の写真
『町制30周年記念ふくさき』
昭和61年（1986）

松岡五兄弟

松岡映丘 柳田國男

第72話



令和2年度に、松岡家から三木家へ宛てられた手紙類が福岡に寄贈されて以降、福岡町と神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターでは、これらの手紙の調査を続けてきました。その成果については、令和4年度の三木家の特別展示や、この「松岡五兄弟」などで紹介してきました。今回は、この2年間の調査でわかってきたことを、まとめてお伝えします。

ひとつは、五兄弟と三木家との関係です。これまで両者の関係は、「竹馬の友」である柳田國男と、三木拙二との交流ばかりが取り上げられてきました。両家をつなぐ資料は少なく、『故郷七十年』にも國男以外の兄弟と、拙二との関係は、ほとんど記されて

福岡の身近にある歴史を掘り起こそう

手紙から見えてきた松岡家と三木家の関係

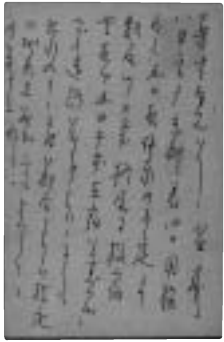
神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 井上 舞

いませんでした。

しかし、手紙を調査することによって、國男だけでなく、他の兄弟も國男と同等の付き合いを重ねていたことがわかってきました。互いに、さまざまな品物を贈りあっていたほか、兄弟たちが辻川に帰った際には、三木家に挨拶に行き、三木家でも兄弟たちをさまざまにもてなしていたようです。

なかでも注目すべきは、松岡輝夫（映丘）との関係です。拙二は何かにつけて蒸し鯛や松茸などを送っていたことが、輝夫の礼状からうかがえます。そして、輝夫も拙二の依頼を受けて、何枚もの絵を描いていたようです。

また、①の葉書からは、輝夫が仕事で京都に出向いた際



①三木拙二宛松岡映丘葉書

に、拙二と会う約束をしていたことがわかります。このほか、輝夫がヨーロッパ出張のため神戸港から出港した際には、神戸まで見送りにも出向いており、深い付き合いがあったことをうかがわせます。

もうひとつは、拙二の行動です。兄弟たちからの手紙をみると、拙二もまたしばしば上京し、兄弟たちのもとを訪れていたことがわかります。そればかりか、ときには五兄弟の集まりに顔を出すこともあったようです。

②は輝夫が拙二に宛てた葉書です。兄弟会を開催する予定であったが、國男の都合が悪いため延期するという内容が書かれています。松岡家の五兄弟は、それぞれ別の道を進みつつも、長兄の鼎を中心、互いに助け合う関係を生涯持ち続けていました。そうした兄弟たちの会合に招かれるあたり、単なる家同士の付き合いを越えた交流の深さがうかがえます。



②三木拙二宛松岡映丘葉書

もうひとつは、國男についてです。拙二に宛てた手紙には、もてなしを受けたことへのお礼、あるいは近くまで来たのに立ち寄れなかったお詫びの手紙が多く残っていました。

國男は他の兄弟より頻繁に辻川に帰郷していたようですが、今回調査した手紙からは、これまで確認されていない帰郷の情報もありました。また、贈り物のやりとりや、昔のことを懐かしむような文面からは「竹馬の友」であるふたりの交流の様子が、より具体的にわかってきました。

松岡五兄弟から三木家に宛てられた手紙の調査は、現在も継続中です。また、五兄弟から

の手紙のほかに、三木拙二が出した手紙の手控も見つかっています。これを調査することによって、拙二が兄弟たちにどのような手紙を送っていたのかもわかってくるはずです。

次年度以降も、引き続き松岡五兄弟についての調査を続け、その成果を広報や展示でご報告していきたいと思えます。



③三木拙二宛柳田國男葉書



令和5年度企画展

教科書展 一理科編一

会期：4/22(土)～5/31(水)

会場：歴史民俗資料館



日本初とされる物理の教科書

連続講座③のご案内

演 題：「ふくさきの遺跡—令和3年度の発掘調査から—」

日 時：3月11日(土) 13:30～15:00

講 師：渡辺昇 (埋蔵文化財調査専門員)

場 所：神崎郡歴史民俗資料館 2階

受講料：無料 (申込不要)

問い合わせ：歴史民俗資料館 ☎22-5699

開催中の埋蔵文化財発掘調査展「発掘された福崎2021」

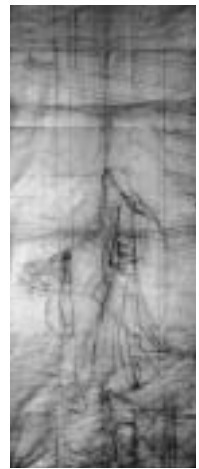
(4/2まで開催)にあわせて、令和3年度に行われた発掘調査成果についてわかりやすく解説します。

記念館だより

松岡映丘画稿展～物語絵の世界～

松岡映丘 (本名：輝夫) は柳田國男の末弟で、近代大和絵の革新に大きく寄与した日本画家です。日本古来の大和絵は、王朝文学や軍記物を題材に描かれることが多く、映丘もそういった作品を残しています。

本展では、様々な物語を題材に描かれた作品をご紹介します。



▲《夕顔》画稿

会期：4/8(土)～6/4(日)

会場：記念館2階展示室

料金：無料



「雛人形と春の民具展」開催中

期間 3月26日(日)まで

場所 三木家住宅主屋

※土・日曜日、祝日のみ開館

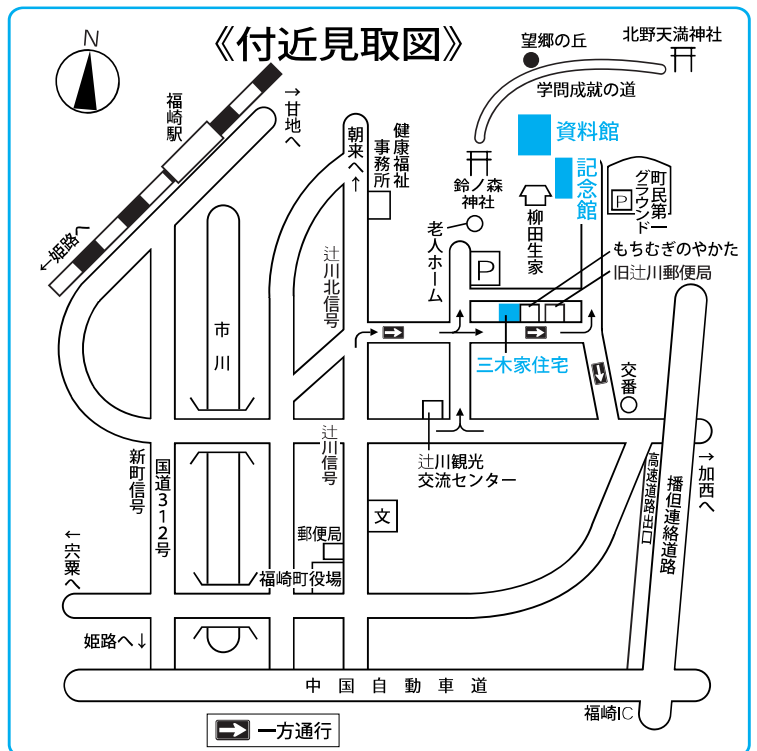
開館時間 9:00～16:30

(入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌日(土・日曜の場合は
開館)、12月28日～1月4日
入館料 無料
交通 JR播但線で福崎駅下車、
タクシー約10分。車は播但
連絡道路・中国自動車道で
福崎ICから約5分、または
国道312号線を利用。

開館時間 9時～16時30分

柳田國男・松岡家記念館
歴史民俗資料館 利用案内



福崎町文化財だより⑧③
発行 令和5年3月2日
●福崎町教育委員会
福崎町南田原316の1
☎0790-20560
●柳田國男・松岡家記念館
●神崎郡歴史民俗資料館
福崎町西田原108の12
☎0790-21000
(記念館)
☎0790-25699
(歴史民俗)



農家住宅について

市街化調整区域は、自然環境や農地を守るための区域であり、原則として住宅等の建築はできません。例外として認められている建物の1つである「農家住宅」を紹介します。

農家住宅とは、農業を営む人が住むための住宅です。

- ・農家住宅を建てる場合は農業委員会が発行する農家であることの証明書が必要です。主な要件は、1,000㎡以上耕作している農業者であることです。
- ・増改築を行う場合も農業委員会が発行する証明書が必要です。
- ・農家住宅を建てようとする人が他に家を持っていないことが条件となります。
- ・農家住宅に居住する者がやむを得ない事情で農業をやめた場合、都市計画法に基づく住宅の用途変更の手続きが必要となることがあります。

※ 住宅の用途変更の手続きには、10年以上農業を継続して行っていた証拠書類が必要です。農家住宅を建てた人は、万が一に備えて農業を行っていることがわかる書類を保管してください。

なお、農業委員会では申請時の現況についてのみ証明可能ですが、10年以上農業を継続して行っていた証明や過去のある時点の証明などはできませんのでご注意ください。



問い合わせ先

- 建築の書類等について 中播磨県民センター 姫路土木事務所
まちづくり建築第1課 ☎079-281-9653
まちづくり建築第2課 ☎079-281-9061
福崎町役場まちづくり課 都市計画係（内線332）
- 農地転用について 福崎町農業委員会事務局（農林振興課内、内線314・315）

マイナンバーカードの申請・受け取りの休日・時間外受付窓口を開設します

平日の昼間にカードの申請や受け取りに来庁することが困難な人のために、休日に申請窓口を開設します。

事前に電話予約をお願いします

日	時	場所
3月10日(金)	17:15~19:15	住民生活課 【事前予約制】 ☎0790-22-0560 (内線371)
3月12日(日)	9:00~16:00	
3月17日(金)	17:15~19:15	
3月21日(火・祝)	9:00~16:00	
3月24日(金)	17:15~19:15	

問い合わせ先 住民生活課 町民窓口係(内線371)

大型複合遊具等が間もなく完成します!!

現在、福崎浄化センター東側の広場で、ふわふわドームに引き続き、大型複合遊具等の設置工事を進めています。完成は3月中旬を予定していますので、完成した際にはぜひ遊びにお越しください。

※オープン日についてはホームページ等で改めてお知らせします。

新しく設置する遊具等

幼児用複合遊具(3~6歳)、児童用複合遊具(6~12歳)、ターザンロープ、ブランコ、健康器具ほか

トイレ 有 駐車場 19台(無料)

問い合わせ先 上下水道課(内線382)





新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
予定が変更になる場合があります。
HPでお知らせしますのでご確認ください。

にこにこひろばで 作って遊ぼう！

申込みは不要です。材料はこちらで用意します。
9:30～11:00の都合のよい時間におこしてください。
対象 就学前の子どもとその保護者
定員 20人程度

☆3月の製作『春のカード』

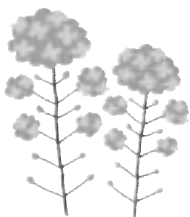
3月16日(木)

製作時間：約20分

☆4月の製作『こいのぼり』

4月20日(木)

製作時間：約20分



※問い合わせはにこにこひろばへ

『あそびのひろば』

おんがくあそびの会【ドレミ】

日時 3月9日(木) 10:00～11:00

場所 八千種研修センター

定員 12組程度

音に合わせたリズムあそびや、
季節の歌を歌っています。



※申し込みは、ともだちひろばまで

令和5年度

西部子育て学習センター

(ともだちひろば)の

グループ活動に参加しませんか？

ともだちひろばでは、さまざまな活動に参加
できる、子育て中の親子を募集します。

いろいろなあそび、交流、子育てについての
学習、情報交換などを通して、いっしょに考え、
子育てしませんか？

対象 町内在住で就園前の子ども（入園し
ていないH29.4.2～R5.4.1生まれ
の子）とその保護者

活動日 令和5年4月～令和6年3月
火・水・金曜日の年15回程度、
10:00～11:00

活動場所 文化センター内 他

申込方法 ともだちひろばに申込用紙がありま
す。必要事項を記入の上、お申し込
みください。

申し込みは随時受け付けています。

申込み・問い合わせ先 ともだちひろば



みんなでおさんぽ！



にこにこひろばから鈴の森神社まで歩いて行き、
辻川山公園を散策します。

ちょうどいいお散歩コースです。ベビーカー
でも大丈夫！

日時 4月4日(火)・6日(木)

10:00～11:30 ※雨天の場合は中止

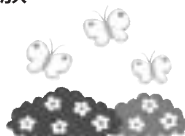
集合 にこにこひろば 9:55(時間厳守)

対象 就学前の子どもとその家族

定員 各日とも10組程度

持ち物 お茶

申し込み先 にこにこひろば



個別相談(1日3組まで)

3月28日(火)・4月18日(火) 10:00～14:00

場所：文化センター 2階 和室 ※託児あり

個別相談員：大内和恵

※申し込みは下記の3施設で受け付けます。

★定員を定めている行事への参加は、福崎町に在住の子どもとその保護者に限ります。

★子育て情報は福崎町ホームページでもご覧になれます。アドレス<http://www.town.fukusaki.hyogo.jp>

ともだちひろば

(西部子育て学習センター)

火～金曜日 9:00～16:00

文化センター2階

☎22-7830 FAX22-2561

おひさまらんど

(福崎子育て支援センター)

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

福崎幼稚園内

☎22-2308 FAX22-2313

にこにこひろば

(東部子育て学習センター)

月～木曜日 9:00～16:00

田原幼稚園内

☎22-1058 FAX22-1058

子育て支援に関することは Eメール ko-shien@town.fukusaki.lg.jp